

キャラクター名  
アルバート・キーニング

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ ノイマン	ワークス	何でも屋	カヴァー	奇術師
オプション		年齢	17	性別	男
覚醒	渴望	衝動	憎悪	初期侵食率	46%
出自	貧乏	経験	その日暮らし	邂逅	復讐

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0	1	0			1	行動値	26
感覚	3	0	0	8		11	(非装備時)	26
精神	4	0	0			4	戦闘移動	31
社会	1	0	0	2		3	全力移動	62

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	20	9	RC			交渉	2	
回避	1		知覚	1		意志	1	1	調達	3	
運転:			芸術: 奇術	1		知識: 建築物	1		情報: 噂話	2	
運転:			芸術: 絵画	1		知識: レネゲイド	1		情報: 裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: 噂好きの友人	
コネ: 情報屋 相棒	
シルバーの懐中時計 (思い出の一品)	
↑メモリアル	
↑ビーコン	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
守護天使	P	N		
パーティ(WH)	P 好奇心	N 羨望		
ギル(RE)	P 信頼	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 12    残り財産P: 8

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
陽炎の衣	2	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	隠密状態になる、[LV]回/シーン							
コンセ:ノイマン	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	C値-[LV](下限7)							
見えざる死神	3	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	判定ダイス+1、攻撃力+[LV*3]、隠密時のみ							
レーザーファン	1	3	メジャー	武器	範囲(選択)	対決	-	
効果:	対象変更、至近不可、[LV]回/シナリオ							
マスヴィジョン	3	4	メジャー	-	-	対決	100	
効果:	攻撃力+[LV*5]、3回/シナリオ							
即席武器	3	2	メジャー	参照	-	対決	-	
効果:	攻撃力[LV*2+3]							
ディフェンスサポート	3	2	オート	至近	単体	自動	-	
効果:	G値+[LV*3]、自身不可、1回/ラウンド							
チェイストリガー	1	4	オート	至近	単体	自動	-	
効果:	ラウンド間【行動値】+[LV*5]、1回/ラウンド							
ラストアクション	★	5	オート	至近	自身	自動	100	
効果:	戦闘不能時メインプロセスを行う、1回/シナリオ							
デスストーカー	6	-	常時	至近	自身	自動	リミット	
効果:	隠密時攻撃力+24[LV*4]							
武芸の達人	3	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	〈射撃〉達成値+9[LV*3]							
探知する光	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	周囲の地形や動きを読み取る							
天使の絵の具	★	-	メジャー	視界	シーン(選択)	自動	-	
効果:	大氣中に映像を投影する							

産業革命で没落した男爵家の嫡男、地位としては一応平民だが貧民街育ち。両親はプライドだけが無駄に高く、そこから貴族という人種を毛ほども好ましく思っていない。  
本名はアルバート・キーニングだが、基本的に名乗る時はアル、と愛称を名乗る。貴族然とした名前が嫌い。

3歳頃に両親が没落したことで平民となる。それ以前のことは全く記憶になければ、親が何を生業として貴族として生きていたのかも知らない。  
5、6歳の頃から親の元を離れてルー・ファミリーで育つ。10歳頃以降は顔すら見ずにいるため親の生死は不明だし、どうでもいいと思っている。

ルー・ファミリーとの出会いは幼少期に奴隷商に誘拐されそうになったことによる。能力者が半数を占めるその子供たちの組織に救われたことで一員となる。  
一番に彼を助けたのはパトリシアという非能力者の少女で、それがきっかけで彼とパートナーとしての関係を築いていた。  
ちなみに誘拐の理由としては元婚約者のロザリンドを助けた際に、彼本人は無意識であったが能力を使用してしまったことによるもののだが、それを本人は覚えてはいない。  
一切の遠慮のないパトリシアに押されながらも、彼女が真っ直ぐに進めるように道を整えるのが彼の役割であった。そうして自然と能力を自己の制御下に置いていく。

そうして彼が12歳になった頃、ロンドン全域で行方不明事件が発生する。被害者は貧民や平民の子供ばかりであった。  
事件の本質としては貴族を始めとする富裕層に当時流行り始めた『魔術』の生費にするためのものだったという。  
そして、それにパトリシアも巻き込まれ、命を落とす。彼女は理不尽な要求をする大人に嘔み付き、連れて行かれた。  
当然それを目撃した彼女及びファミリーの能力者で救出作戦を立てるが、彼女の明るく笑う姿は奪われ、苦しさに顔を垂めた姿で発見される。

この事件以前にも彼は貴族というものを毛嫌いでいたが、より一層憎悪の念が深くなった。  
奇術師一座という表面を持つ、義賊団ルー・ファミリーにおいて、どちらにおいても秀でた才能を持つ彼は止める者なく孤独になる。  
その姿を見かねた、当時ファミリーの中でもとても良くしてもらっていたウィリアム、メアリーの計らいで、ギルとパートナーを組むことになる。

